

# 議会市民懇談会報告書

令和5年3月29日

山陽小野田市議会議長 高松秀樹 様

産業建設常任委員長 藤岡修美

令和5年3月20日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

- 1 開催日時 令和5年3月20日（月） 午後2時～午後4時
  - 2 開催場所 山陽小野田市役所 3階 第2委員会室
  - 3 申請団体等名称 有害鳥獣被害を受けている市民と被害防止対策を考える会
  - 4 参加人数（市民） 12人
  - 5 テーマ 早急に！国策に則った有害鳥獣被害を実行して頂く為に  
～被害の実態と現場の声
  - 6 担当議員名 藤岡修美、中岡英二、中村博行、森山喜久、矢田松夫、中島好人、  
恒松恵子
  - 7 懇談会次第
    - (1) 開会挨拶
    - (2) 出席者紹介
    - (3) テーマの趣旨説明
    - (4) テーマの報告
    - (5) 意見交換
    - (6) 閉会挨拶
  - 8 意見交換の主な内容
- ◆市民からの報告◆

- 【市民】千崎では毎年農作物の被害があったがジビエ団の駆除により被害が減少した。
- 【市民】宇部と小野田の市境でブドウを栽培しているがイノシシが出没し掘削跡が多数ある。建物内には侵入しない。
- 【市民】千崎では自宅と畑に防護柵を設置したが侵入してくる。
- 【市民】柵の設置に補助金を申請したが3ヶ月かかった。
- 【市民】金網をイノシシの子どもは通過することがある。市に相談しても動いてくれない。猟友会は、話は聞いてくれるが動きが悪い。
- 【市民】千崎ではわなを仕掛けてもらったが猟友会からその後の見回りがなかった。ジビエ団がわなを掛けて2頭捕獲できた。
- 【市民】困っている千崎の自治会員をなんとかしたい。
- 【市民】市から鳥獣被害対策について回覧板で連絡しているとのことであったが、回覧板は見ない人もいる。鳥獣被害に対して執行部か鳥獣対策協議会か旗振り役が不明である。
- 【議員】市の対応がなっていないとの請願を受けたこともあり、令和5年度の予算審査では国の交付金を活用し、実態に応じた対策を取るよう討議した。

#### ◆意見交換◆

- 【議員】今までの報告で聞いた防護柵などの費用は自費か。
- 【市民】ほぼ自費であるが、田については共済から少し出た。
- 【市民】自費で行った。JAに加入していない農業者は多い。
- 【議員】自費で行う理由は。
- 【市民】急いで行ったので補助金や保険の情報収集をしていない。
- 【議員】市内で一番被害対策のために活動していた人が駆除できなかった理由は。
- 【市民】駆除していた人が猟友会を退会した。
- 【市民】駆除隊を市が任命できるが、委託しているのは猟友会のみで他市は様々な団体が活動している。猟友会会員でないために駆除隊に入れられない現実がある。
- 【議員】他市では多数の実施隊を抱えているが仕組みは分かるか。
- 【市民】本市の民間実施隊はゼロ。長門市、美祢市に比較して知識が劣っているのではないか。
- 【議員】子どもたちに被害が及ぶ前に議会としてすぐに取り組んでいきたい。
- 【市民】先日、請願したが、動いていないと感じている。今日の専門家の知恵を頂きながら民間実施隊の条例や仕組みを作してほしい。命がけで戦っているメンバーや困っている市民のために市長が任命してほしい。

#### ◆市民から改善策の提案◆

◇根本的な解決は捕獲。

- ・有害鳥獣の生態に合わせた捕獲が必要。

◇防護柵

- ・国の交付金メニューを活用する。

◇ICTの活用

- ・防護柵アラームを活用して状況把握をし、狩猟仲間や自治会、農家などとLINEで情報共有する。防護柵アラームは誤作動もあり得る。

◇民家実施隊の任命

- ・民間実施隊を発足させる。閑散期に農業者を隊員に入れれば買い取りが収入になる。リーダーとなる組織を作る。

◆提案を受けての意見交換◆

【議員】防護柵以外に、これだけはやってほしいという要望はあるか。

【市民】草刈りなど自治会では管理できない場所の整備

【市民】イノシンシ出没などの注意喚起看板の設置

【市民】マダニを介したSFTSの注意喚起。

【議員】今日の懇談会を民間実施隊に生かすにはどのようにしたらよいか。

【市民】先進事例を研究してほしい。農業者や市民と一緒に議員の力で市を動かしてほしい。

【議員】条例設置は山口市のみ。これからも議会として継続して強く求めていく。